身近にいるかも!? ツキノワグマを見つけ

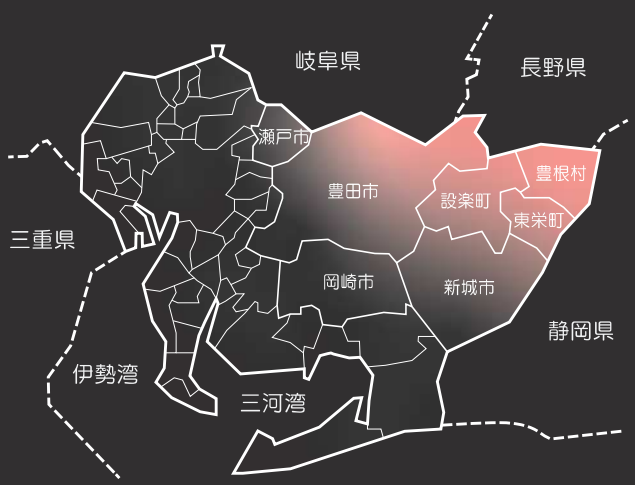
自然豊かな愛知県。実はツキノワグマも生息しているんです。

クマは基本的に森の中で暮らしています。しっかりと対策をとって、突然の遭遇や集落への出没を防ぎましょう。

◎ クマとの事故を防ぐには

クマは本来、警戒心が強く、慎重な動物です。
普段は人を避けて行動していますが、人とばったり出会うと驚きや恐怖から手を出し、時に事故となります。
突然の出会いを避けることが大切です。

[愛知県内のクマの目撃地域]



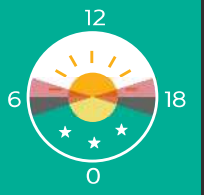
▌クマに出会わないために

知らせる

音や声で存在を知らせる

鈴や携帯ラジオなどを鳴らしたり会話をするなどして、こちらの存在を伝えるとクマは避けてくれます。

時間帯



クマの出歩く時間を避ける

クマは早朝や夕暮れ時に活発に動きます。
この時間帯は、山林やその周辺での活動を控えましょう。

周りに注意

周囲に目を配る

山菜採りに夢中だったり、沢や風の音が強かったりすると、お互いの存在に気付くのが遅れ、遭遇事故となることがあります。

クマと共生する社会づくり

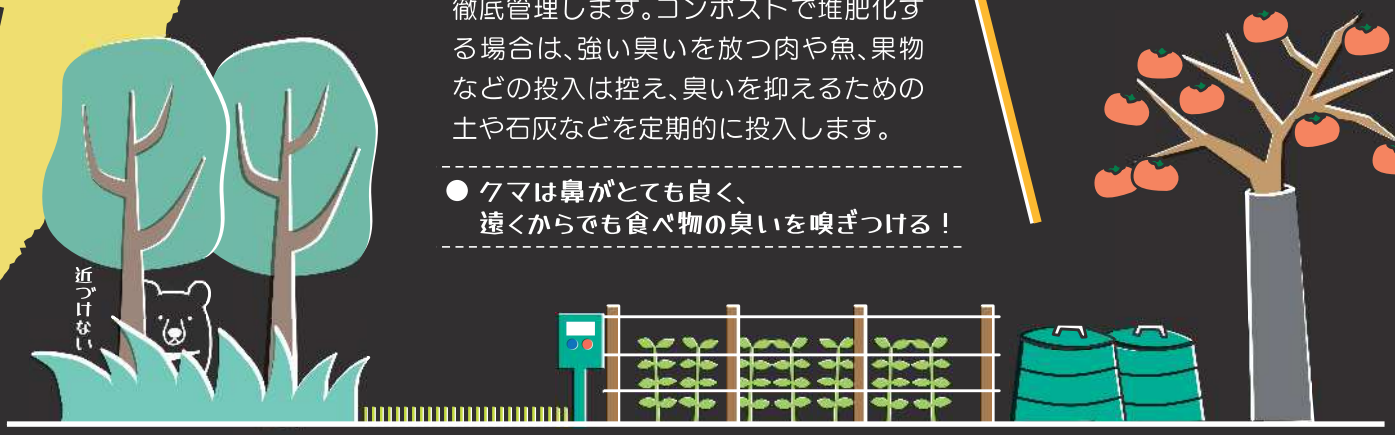
集落にクマを寄せつけないために

クマが農作物の美味しさを知ったり、食べ物が簡単に手に入る場所を覚えると、農地や集落周辺に住みついてしまうこともあります。このような事態を避けるために地域ぐるみでしっかり対策をとることが大切です。

廃棄野菜の管理を徹底

野外での放置はせず、蓋つきのゴミ箱で徹底管理します。コンポストで堆肥化する場合は、強い臭いを放つ肉や魚、果物などの投入は控え、臭いを抑えるための土や石灰などを定期的に投入します。

● クマは鼻がとても良く、遠くからでも食べ物の臭いを嗅ぎつける！



集落に近い林縁の藪は刈り払う

山と接している藪を刈り払い、見通しを良くすることで、クマが集落に近づきにくくなります。

● クマは身を隠せる藪をつたって移動する！

餌場となる場所を電気柵で囲う

クマの餌場となる場所（畑、養蜂巣箱、畜舎、飼料置き場など）は、電気柵で囲います。

● クマは金網柵やトタン柵を簡単に乗り越える！

果樹は早めに全収穫

早めに収穫し、未利用の木は伐採します。幹にトタンを巻いてクマが木に登れないようにするのも効果的です。

● クマは木登りがとても上手！

クマに出会ってしまったら

クマに出会った時こそ、落ちついた対応が必要です。親子（母子）の時はなおさらです。

目を合わせたまま、ゆっくり後ずさりして離れましょう。
子グマだけの時は、母グマがいないか周囲に目を配り、とにかく静かにその場を去ります。
以下の3つはクマを刺激する危険な行為です。

✕大声を出したり腕をふりまわす

✕背中を見せたり走って逃げる

✕死んだふり

愛知県 環境局
環境政策部 自然環境課
TEL：052-954-6230

令和３年11月発行